

こころとからだに、
おいしいものを。



DyDo Challenge通信 2021年春号 株主様アンケート結果

ダイドグループホールディングス株式会社
(東証一部：2590)

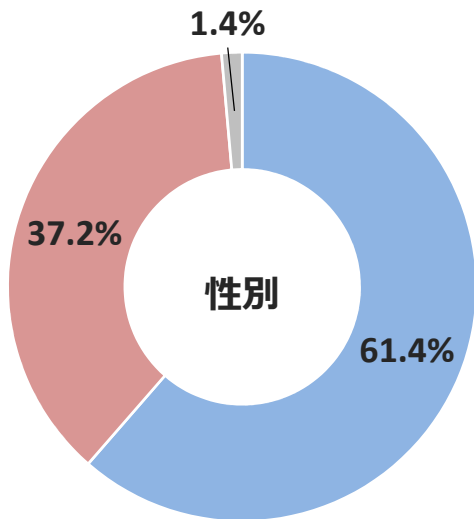
- ・本資料はいち早くアンケート結果を開示するため、2021年6月22日までに当社に到着したご回答をもとに速報値として掲載しています。
- ・本資料内で記載する計数は小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

2021年7月6日

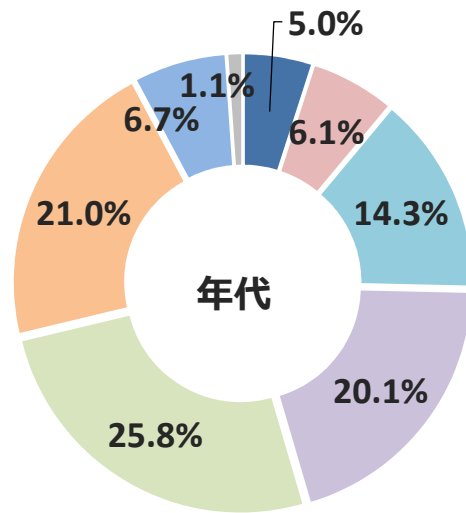
1. 回答数・属性

◆回答者数 4404名（回答率13.7%）

◆属性



■ 男性 ■ 女性 ■ 回答なし

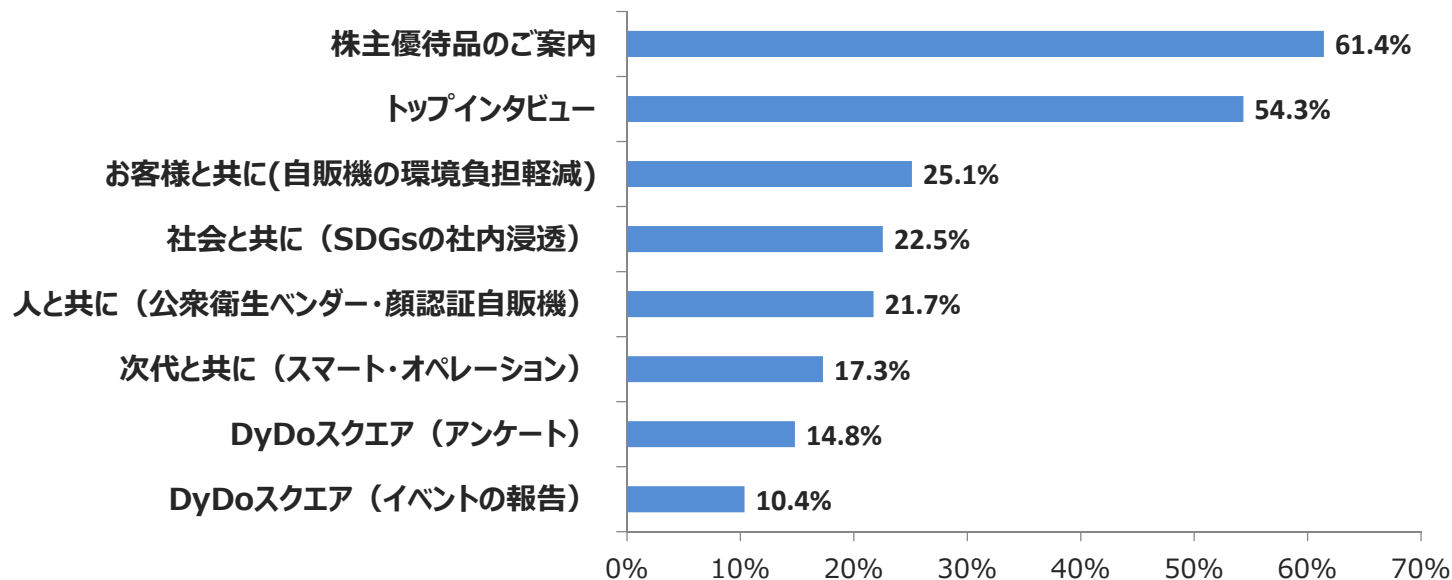


■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上 ■ 回答なし

2-1. DyDo Challenge通信で興味を持たれた記事

Q1. 「DyDo Challenge通信 2021年春号」で興味を持たれた記事はどれでしょうか？（複数回答可）

▶ 優待制度変更の影響もあり、株主優待品のご案内への関心度が高い結果となりました。



2-2. フリーコメントより一部抜粋

株主優待品のご案内

- 他社でも株主優待をいただいておりますが、株主優待のボリュームに驚いたのは初めてで、ますますDyDoグループのファンになりました。
- 32種類もあって驚きました。楽しい気分で飲みたいと思います。
- 株主優待のパッケージがとてもかわいくて、中も三段のお重のようになっていて華やかでした。
- DyDo Challenge通信の株主優待の案内も分かりやすかったです。

トップインタビュー

- コロナ禍の中、社長を中心に経営戦略の実現に努力されている姿には共感する部分が多々あり、株主として安心できます。
- 戦略の見直しと行動の速さに感服。今後も期待しています。
- 現在注力している取り組みや、中期・長期の計画についても応援したくなる内容でした。

お客様と共に（自販機の環境負担軽減）

- 自販機の使用年数の目標が思っていたより長くて驚きました。
- 空き容器回収率100%をめざすのは素敵なことだと思います。
- ラベルレスボトルへの取り組みなど、小さなことも積み重ねで大きなものになると思います。

2-2. フリーコメントより一部抜粋

社会と共に（SDGsの社内浸透）

- DyDoグループの理念である共存共栄の精神が、SDGsへの取り組みに現れていると思います。
- SDGsはこれから絶対に必要な考えだと思います。SDGs関連の取り組みがもっと知りたいです。

人と共に（公衆衛生ベンダー・顔認証自販機）

- 自販機の商品内容の多様化だけでなく、新しい自販機を開発しておられる様子に感動しました。
- ダイドドリンクは自販機が主軸であるので、常に最先端の自販機を開発してほしい。

次代と共に（スマート・オペレーション）

- スマート・オペレーションの導入がルート担当者の働き方改革も実現することに納得しました。
- 全ての自販機にスマート・オペレーションを導入する等、達成に向けて頑張してほしいと思います。

DyDoスクエア

- レシピで紹介されている「ティラミス風わらびもち」が参考になりました。
- 缶コーヒーを使ったレシピをもっと掲載してほしいです。

2-3. フリーコメントへの回答

**Q.自販機横の空き容器専用リサイクルBOXにゴミが入っているのを見かけます。
ゴミが入らないように、何か工夫は出来ないのでしょうか。**

A. 空き容器専用リサイクルBOXに「異物投入抑制ステッカー」を貼ることで啓発活動を行っています。



空き容器専用リサイクルBOXは本来ペットボトルなどの飲料の空き容器のみを回収するためのものです。しかし、実際にはたばこの吸い殻や弁当の空き容器など、飲料の空き容器以外のゴミが捨てられていることもあり、効率的なリサイクルに支障をきたしています。

その原因のひとつとして、空き容器専用リサイクルBOXに対する認知度が低いことが挙げられます※。

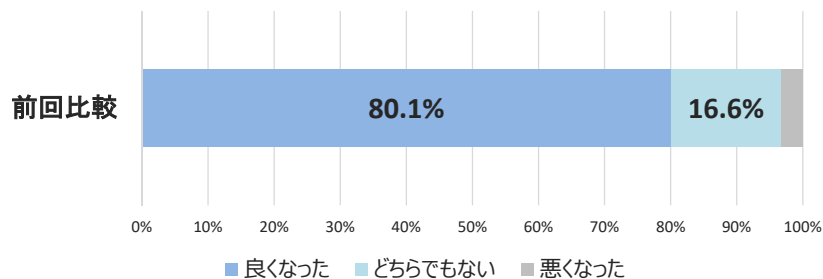
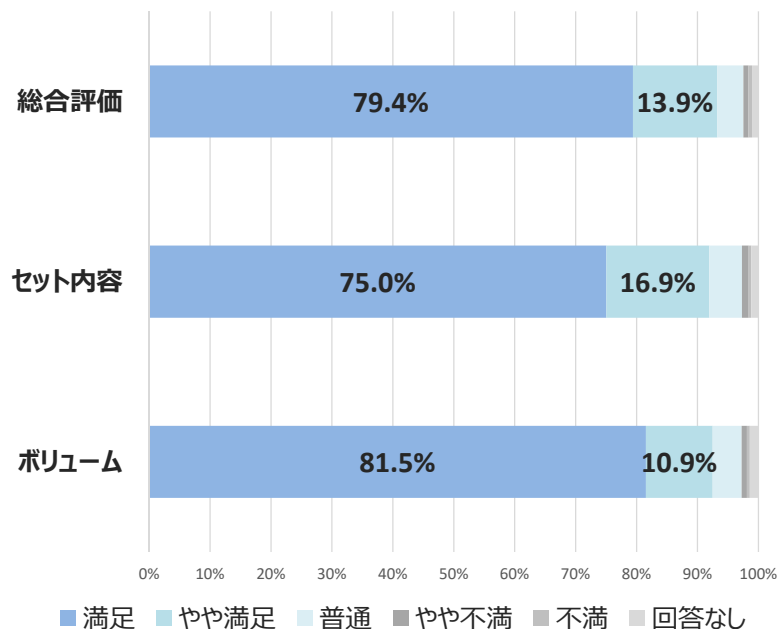
そこで、国内飲料事業では「異物投入抑制ステッカー」を作成し、空き容器専用リサイクルBOXに貼り付けを行いました。これによって空き容器リサイクルBOXへの異物混入を防ぎ、効率的なリサイクルをめざします。

※一般社団法人全国飲料連合会が行った『リサイクルボックスに関する消費者意識調査2020』では、回答者の4割強が「自動販売機の横のボックスはゴミ箱ではなく、飲料容器専用のリサイクルボックスであることを知らなかった」としている。

3-1. 株主優待への満足度

Q2. 今回の株主優待に当てはまる評価はどれですか。

▶ 今回より変更した株主優待品は、従来以上に高い評価をいただきました。



株主優待制度の変更（2020年度～）

変更前

・3,000円相当の自社グループ商品
を年2回贈呈

変更後

・半年以上継続保有で6,000円相当の
自社グループ商品を年1回贈呈
・5年以上継続保有で記念品を贈呈。
※保有年数が5年を超えた年に1回限り

3-2. フリーコメントより一部抜粋

株主優待全般に関するご感想

- 大きな箱が届きびっくりしました。株主のワクワク感を大切にいただきありがとうございます。
- 今年から優待制度が新しく変わると知ってから届くのを楽しみにしていました。
- 質・量ともにトップクラスの株主優待だと思います。

セット内容に関して

- 飲料、ゼリー、それぞれバランスのいい組み合わせでした。
- バリエティに富んだセット内容で、一目見て感激しました。
- たらみのゼリーに高級さを感じ、種類の多さにも驚きました。

ボリュームに関して

- 三段重ねのボリュームに圧倒されました。生涯、株主でいようと思います。
- 大きな箱に沢山入っていてびっくりしました。家族で分けてもしばらく楽しめそうです。

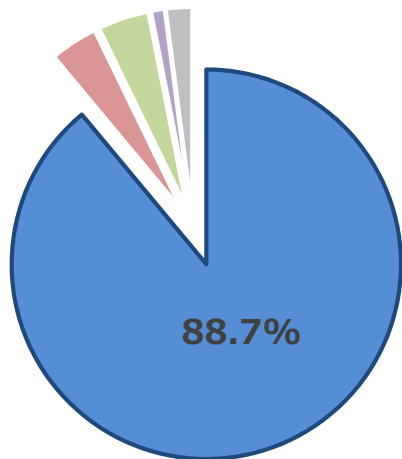
配達回数に関して

- 年2回が年1回になりましたが、ボリュームは増えて満足です。
- 配送費を削減するためだと思いますが、年2回3000円相当の方が良いと思います。

4. 当社株式の保有方針

Q3. 当社の株式についてどのような方針をお持ちですか。

- ▶ 9割弱の株主様が長期保有の方針とご回答いただきました。

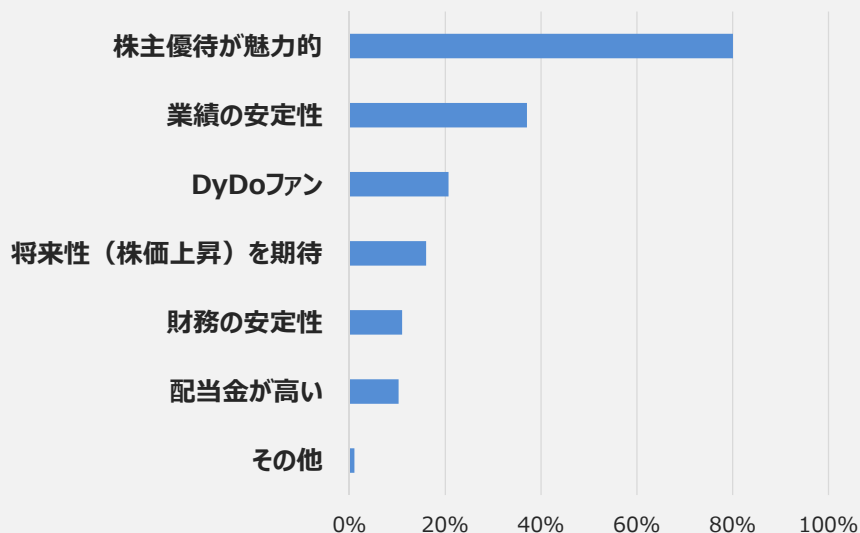


■ 長期保有 ■ 買い増し ■ 株価が上がれば売却 ■ その他 ■ 未回答

Q4. 長期保有の理由をおしえてください。

※Q3で長期保有を選択された方のみ

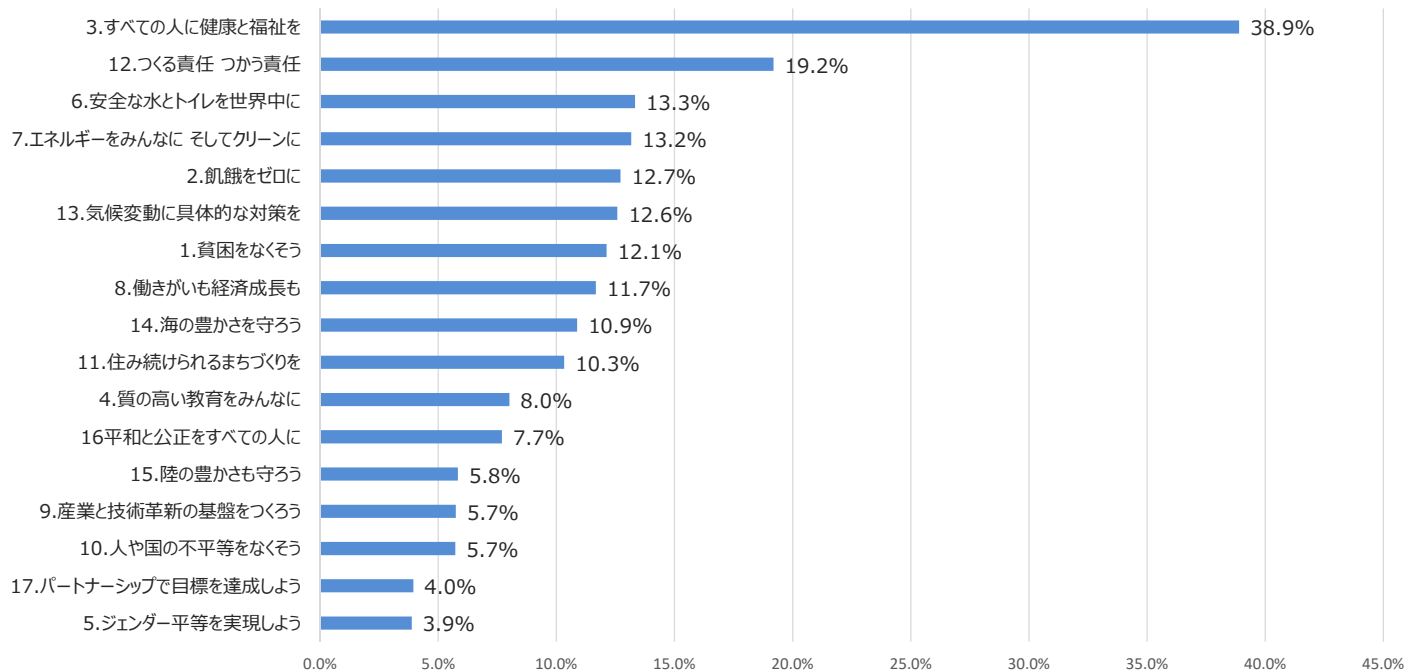
- ▶ 大多数の株主様が株主優待制度を挙げられました。



5-1. SDGsへの取り組みに関して

Q6. 当社グループに対して貢献を期待する、SDGsの目標はどれでしょうか。（複数回答可）

▶ 飲料を中心とする事業を展開していることから、「健康」や「容器」に関わる貢献を期待されるお声を多くいただきました。



5-2. フリーコメントより一部抜粋

3. すべての人に健康と福祉を

- 食品を扱う会社なので、重点すべきSDGsの目標は食と健康だと思います。
- DyDoグループは食で人々への健康と幸せを提供される、貴重な会社だと思っています。
- 健康でセーフティネットがしっかりしていれば、人々はチャレンジしやすくなり、社会に活気が生まれると思います。

12. つくる責任 つかう責任

- ペットボトルの使用が問題になっているので、便利ですが考えるべきだと思いました。
- 作りっぱなしでなく、その先までフォローするべきだと思います。
- 空き容器回収率100%をめざされていますが、飲料容器の軽量化や、空き容器の回収など頑張ってください。

6. 安全な水とトイレを世界中に

- 貴社の企業形態は水の恩恵を高く受けていると思われます。水を大切にしていってください。
- 飲料メーカーとして、安全な水には関わってほしいと思います。

その他ご意見

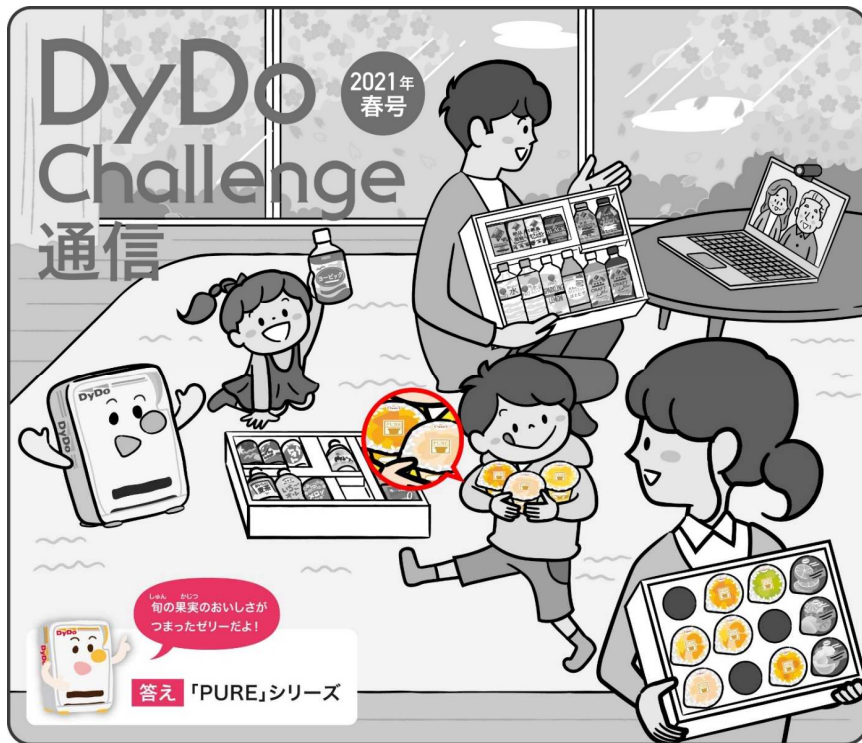
- SDGsの取り組みをゲームで体験したり学んだり、それを生かした活動をされていることに意気込みを感じます。
- 大企業として社会的責任もあると思います。自社の利益以外にも社会への貢献をしていってください。

QUIZ!

株主優待セットの中から男の子が持っていった商品のシリーズ名はなんでしょう？

◆ 正答 「PURE」シリーズ

◆ 正答率 82.8%



※正答率はプレゼント応募企画のご応募期限（2021年5月31日（月）消印分）までのものを基に算出